

全 員 協 議 会 記 録

令和3年4月12日(月)
13時00分～13時43分
全員協議会室

〔出席議員〕

川神議長、佐々木副議長

三浦議員、沖田議員、西川議員、村武議員、川上議員、柳楽議員、串崎議員、
小川議員、野藤議員、上野議員、飛野議員、笹田議員、布施議員、岡本議員、
芦谷議員、永見議員、道下議員、田畑議員、西田議員、澁谷議員、西村議員、
牛尾議員

〔執行部〕

〔事務局〕

局長、次長、浜野書記、小寺書記

議 題

- 1 はまだ議会だより読者アンケートに寄せられた意見の取扱いについて
- 2 地域協議会との意見交換会の班編成について
- 3 はまだ市民一日議会の周知方法の報告とお願いについて
- 4 その他

【詳細は会議録のとおり】

【会議録】

〔 13時 00分 開議 〕

川神議長 　　ただいまから令和3年4月12日の全員協議会を始めたい。西村議員がまだいらしてないが定刻になったため始める。

1 はまだ議会だより読者アンケートに寄せられた意見の取扱いについて

川神議長 　　議会広報広聴委員会委員長、三浦委員長から説明をお願いします。

三浦委員長 　　（以下、資料をもとに説明）

川神議長 　　ただいま三浦委員長から、今後の読者アンケートをどのように議会内で反映して、再び市民にお伝えするのか、その流れについて説明があった。これに関して議員から積極的にご意見や質問があればいただきたい。

布施議員 　　議会だよりは全戸配布で、その中でいろいろな意見が出るだろう。アンケートが出る数は地区によって大きな差があると思っている。団体の方々の意見を一つの意見として集約することもあると思う。そういうアンケートの取り方を検討される余地があったか。そういうことを検討した上で全戸配布のアンケートかつ各種団体へのアンケートまで取っていかうという話し合いはなかったか伺う。

三浦委員長 　　各種団体から意見を伺うことは布施議員ご指摘のとおり大変重要だということは議会広報広聴委員会の中でも出た。昨年度、三つの各常任委員会に対して、議会全体の広聴機能を高めていくには当委員会だけが活動するのではなく、各常任委員会が所管する案件について団体と常時、情報交換や意見交換を積極的にぜひ行っていただきたいという要望を出して共有した。したがってそうした情報交換をベースに考えていただきながら、今回のアンケートは議会だよりを活用した意見要望の聴取方法として取り扱っていただければよい。

布施議員 　　考え方はよくわかった。ただし4月1日から、10年続いた自治区制度が延期され、協働のまちづくり条例も出て26の公民館がまちづくりセンターに変わった。それをよくご存じの方と、公民館の名称が変わったこと自体もご存じない方がおられる。議会としても浜田市が目指す協働のまちづくり条例にて市民と一緒にまちづくりをするのだという使命を負って、地域代表として出ていると思っている。

アンケートはテーマを絞って聞くことも意見が出やすいのでは。その場合は各議員が何名かで地域協議会の会場へ行くだろうから、そこでテーマを出して何でもよいから言ってくれという手法を取るのか、アンケートでも、まちづくりについてどのように思っておられるかと一つのテーマを上げて意見が出や

すいと思う。全体共有の問題になってくると思う。その辺はどのような検討余地があるのか。

三浦委員長

テーマを絞ってアンケートをするのは有効な策だと思っていて、我々委員会の中でも、毎回読者アンケートの設問項目についてどういった質問を投げかけようか協議している。布施議員を初めほかの委員会から、これについて市民に聞いてみたいという具体的なテーマがあればご提案いただければ、当委員会でそれを協議して設問項目に掲載することも有効手段だと思っている。逆にぜひご提案いただけたらと思う。

川神議長

ほかにあるか。この問題に関してはせっかくのアンケート、皆にデータをお送りさせていただいた。こういった問題を市民アンケートの結果としていただいている。これは議員全員で共有すべきだろうという点と、これに対して何らかの形で結果、取り扱い方法を議会としても検討しながら、それを市民にきちんと伝える、そこまでやってこのアンケートの目的が達成できると思っている。今回委員長から提案があり、全員協議会の中でこういった状況を皆に知っていただくことと、今後その流れでいくのがよいのか、全員で共通認識を持ちたいという話があったので、全員協議会の開催に至った。

それ以外に意見はないか。

牛尾議員

コロナの関係で議会報告会ができない中で所管委員会がご努力をされて、市民意見を聴取する方法を進められていることに対しては敬意を表したい。

議員定数等議会改革推進特別委員会をやったときもそうだったが、積極的に投稿して意見を言われる方もいらっしゃるが、大多数の市民はそうではない。そういった方の意見をどう受けとめるかについて非常に難しい。そういうことにも注力いただきたい。

もう一つは、議会報告会で承った議論については必ず、お答えできるものはお答えするようにしている。これも市民の声を聞くツールだから、当然返答しなければいけない。重さは同じだと思っているので、きちんとやるべきだろう。ぜひどんどん進めていただきたい。

三浦委員長

ご意見に感謝する。我々もそうした課題認識を持っているし、非常に重要な点だと思っている。このアンケートも一つの手段なので、牛尾議員がおっしゃった、議会報告会を今後どういう形でやっていくかという検討も引き続きしている。さまざまな方法を検討して広聴機能強化に引き続き務めてまいりたい。

川神議長

ほかに意見があるか。

(「なし」という声あり)

ただいま議員から要望あるいは提案があったことも、しっかりと委員会内でかみ砕いて反映できるよう、よろしく願います。

る。

2 地域協議会との意見交換会の班編成について

川神議長
三浦委員長
川神議長
布施議員

議会広報広聴委員会、三浦委員長からよろしくお願ひする。
(以下、資料をもとに説明)

皆から質問があればお受けする。

開催日時のめどを言われたが、各会場の日時を細部まで詰めておられるのか。

もう1点。地域協議会との意見交換会なので、浜田市は24名の定員の中で各地域から議員が選出されている。これを見ると浜田はわかるが金城・旭・弥栄・三隅班編成の中で、その地域代表の議員がおられない。これは地元以外の議員に地域の声をわかってもらうためにあえて外されたのか。何か意図があったのか。

三浦委員長

まず日程について。今この五つの地域協議会の中で浜田・旭は午後の早い時間にこれまで開催されている。ほかの三つはおおむね18時半からの開催となっており、それぞれ正副会長と協議したときも、この時間帯が出やすいのではないかと、あるいは別日でしっかり議員との意見交換会をやるには同日に開催するとはかにも議題があるので、基本的には別日開催でしっかり時間を取ったほうがよいのではということだった。したがって開催日時については各地域のご要望を伺う中で調整していくことになると思う。したがって五つの地域で皆時間や開催曜日などはばらばらになると考えている。

またこの班編成について、各地域にお住まいの議員が入ったほうがよいかどうか各地域協議会にも伺ったところ、特段そこに配慮はしなくてもよい、逆にほかの地域の議員にもこの地域のことを知ってほしいという声も複数聞かれた。浜田地域からの選出議員が多いためそのところは配慮が難しかったが、ほか四つの地域はそのようにやらせていただいた。

布施議員

理解した。意見交換会は今まで議会報告会、地域井戸端会というやり方で座談会方式だった。ざっくりぼろんな意見交換をしようと思えば井戸端会のように膝が近いほうが言いやすいと思っている。その形式については各班長を中心にどういう形式でもよいとするのか。それともある程度決められているのか。

三浦委員長

一つの流れとしては各地域協議会との協議の中で設定したテーマについて議員側と地域協議会メンバー全員とのやりとりを想定しているが、地域によってワークショップ形式など小分けのグループで一旦協議した上で共有を図りたいという要望がある場合には、決して一つのやり方に固執するわけではないので、そういう方法を採用していただければと思う。

ただ、議会報告会がこれまでの形で実施できなかったように、

感染対策は必要になってくると思うが、それができていれば手法にはこだわらない。

牛尾議員

班編成だが、議会報告会だったらこれでよいがよくわからないので教えてほしい。地域協議会には各15名いらっしゃる。恐らく僕が思うにその地域でなければわからない懸案事項や、地域特有の課題があるような気がする。そうすると、ただ聞いて帰ってくるだけになってしまう気がして。やはり議会報告会ではなく地域のことを聞き取るのだから、地域の議員がおられたほうが。旭なら上野さんがいらっしゃったほうが親切な気がするのだが。

三浦委員長

ご意見感謝する。そうした配慮をするべきではなかろうかという考え方も、もちろん協議内に出てきたが、正副会長との協議の中で、特段そこはこだわらなくてよいというお声が複数あったので今回はこのような形にさせていただいた。

しかしながら今日の全員協議会内で各議員からそうしたお声が出れば、班編成については再度検討することももちろんすべきだと思う。

西川議員

補足させていただく。旭に限っていえば、上野議員は地域協議会に席が設けてあり、発言もされる立場にある。

ほかのところも、地元議員は大体傍聴に来られるとのことで。今回の意見交換会に意見を述べる者として参加するかは今から考えるところだが、傍聴に来られているのでその流れで、ということも考えている。

このメンバーにプラス傍聴者ということで、意見を述べてもらうかどうかは今から考えたい。

牛尾議員

議会報告会なら全く問題ないが、ただこういうことは初めてやるので、事前にわかることがあるなら万難を排してやるほうがよいのでは。

田畑議員

地域協議会との意見交換会をすることに対して、昨年コロナで議会報告会ができなかったから意見交換会をやるという考え方か。

三浦委員長

この検討のスタートはそこからになる。

田畑議員

議会基本条例に基づいて議会報告会をやるのだが、今回は地域協議会の皆との意見交換会をやるという前提でないと、議会広報広聴委員会が地域協議会との意見交換会をやるという進んでされるのは、悪いことではないかもしれないが基本条例に基づくとこれはおかしい。

三浦委員長

今ご指摘の点は先般の全員協議会の際に牛尾議員からもあったものと理解している。我々としてはこの地域協議会の方々との意見交換会も、地域との意見交換会なので議会基本条例に定められている部分と取り扱いは変わらないということで、不特定多数の方が集まる方式を避けようということで、パートナ

一として地域協議会との意見交換会はどうだろうかという発想で行っているものなので、特段条例に反していることはないという理解である。

田畑議員

であるならなおさら、議会基本条例に基づく議会報告会であるが、というのをつけるべき。議会基本条例が先に出て、後で地域協議会との意見交換をするというなら筋が通ってくる。最初から地域協議会との意見交換となると、それは議会広報広聴委員会がお決めになったことだからどうこう言わないが、やはり条例に基づいて進めていかないと、事がおかしくなるのではと思うのだが、いかがか。

三浦委員長

ご指摘ごもっともだと思います。その議会基本条例に定められているように議会報告会を開催するというのは、これに従ってこういうやり方でやる、という解釈なので、市民にも誤解を招かないようにきちんとしたプロセスにのっとって、今回のこのやり方を提案した。どういう表記がよいのかは少し検討させていただきたいが、ご指摘の点は我々も理解しているところであり、進め方については決して条例に違反するものでもないし、議会報告会そのものについてもオンラインでできるのか、どういうやり方がよいのかは検討中である。ご理解いただきたい。

川神議長

ほかにはないか。

(「なし」という声あり)

この件に関しては複数の意見も出ているので、まずは議会内部で一定の共通認識がないと外へ向けて進めない。今の意見も十分配慮しながら議会広報広聴委員会の中で行われた議論を我々も尊重したいと思う。そのためにこの全員協議会が開催されているので、ほかの議員も前向きな積極的な意見をいただきながら、この会がうまく回っていくよう、広報広聴に対しても尽力していただければと思う。よろしく願います。

3 はまだ市民一日議会の周知方法の報告とお願いについて

川神議長

議会広報広聴委員会、三浦委員長。

三浦委員長

(以下、資料をもとに説明)

川神議長

この件に関して議員から質問はあるか。

三浦委員長

今配信したデータのように、チラシをご用意させていただいている。定員、申し込み締め切り、申し込み方法など書かれているので、こちらにも別途お目通しいただきたい。

また申し込み用紙の設置個所を先ほどご案内したが、浜田市議会ホームページにもダウンロードできるように貼り付けており、詳細をそちらから確認したりダウンロードしていただける。また、学校へ配布するものは、今配信したチラシの文言をもう少しやわらかくしたものを別途用意している。中身も条件も同じである。そのような形で市内の学生にも、おもしろそう、出

布施議員

てみたいと思っただけの工夫もさせていただいた。

チラシの一番下に、新型コロナウイルス感染拡大防止対策を実施しているとある。今日も大田で感染者が一人出た。変異ウイルスも出ている。ワクチンも始まるが7月というはまだ接種が全員に行きわたらない時期である。浜田に感染が広がったりした場合の予備日などは考えておられるか。

三浦委員長

予備日までは具体的に設定していないが、感染拡大状況が今後悪化した場合や、対応するケースが出てくる場合には延期はやむなしと考えている。

布施議員

団体や個人的に意見が言える一日議会があるから出てみないか、発言してみないかというとき、口頭でそういったことを事前に言ってもよいか。私が個人的に勧誘する際に、感染拡大で変更の場合もあると。

ただ、申し込みした日とは別の予備日になったら行けないということも出てくるだろうが、それは承知の上でやっていくように告知もすべきだと思う。もうチラシが完成しているなら追記はできないかもしれないが、議員が手渡しなどをする際にはそういう可能性も含めて告知するようにしていただきたい。

三浦委員長

口頭でそのようにお伝えいただくのは、さして問題ないと思う。ただチラシについては本来掲載すべきだったかもしれないが、本日に合わせて印刷に回したところもあるので、そのチラシを使っただけ、ご案内は各議員が口頭でしていただけると大変うれしい。よろしく願います。

川上議員

できたら保護者の件についてご説明いただきたいのだが。

三浦委員長

今配信したものが、小中学生版のチラシであり、一般のものよりも表現が大分やわらかくなっているかと思う。この裏面の申し込みに関する注意点のところに、保護者や先生なども一緒に参加できると記してあり、これは参考にさせていただいた愛知県犬山市議会の市民フリースピーチ制度もそのようになっている。小学生の参加があったときには横に保護者が一緒に登壇されるなどのサポートがあって、子どもたちも出やすい環境を整えておられた。はまだ市民一日議会開催に当たっても同様の配慮をすべきではないかということで、このような形を取っている。併せてご案内いただくと多くの方に参加しやすい条件が伝わるのではと思う。

川神議長

そのほかにあるか。

(「なし」という声あり)

4 その他

川神議長

最後に議員から何かご意見があるか。

(「なし」という声あり)

では、以上で全員協議会を終了させていただく。

[13時 43分 閉議]

浜田市議会全員協議会規程第6条の規定により、ここに全員協議会記録を作成する。

浜田市議会議長 川 神 裕 司